

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	観光型ホテル（商品企画担当）	販売量の動き	・前年同月比の稼働率が約1ポイントのプラスで推移している。
	変わらない	一般小売店 〔鞆・袋物〕 （経営者）	来客数の動き	・沖縄県全体の景気は観光客の影響で良くなっているようだが、商店街では一向に良くなる気配がない。県内でも地域間の差が非常にある。当店でも郊外大型ショッピングセンターの店舗に関しては好調だが、商店街の店舗に関しては相変わらず厳しいというのが現状である。
			百貨店（担当者）	販売量の動き
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・来客数は前年を超える状況にあるが、店舗によって売上にばらつきが出てきている。 ・生鮮、食品、雑貨等の部門で好不調にばらつきがあることから、全体としては2、3か月前と変わらない。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・前年同月比で来客数は1ポイント増加しているが、客単価はほとんど横ばいの状況である。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・1年間の間に開店した店舗の客単価は既存店よりも高く、来客数も好調で、総体的に押し上げているが、一方で老朽化した店舗に関しては落ち込みが激しい。来店動機として店舗が新しいからという理由が占める割合がますます大きくなってきているように感じる。
		家電量販店（副店長）	単価の動き	・高額商品を購入の際、競合店との価格比較を行うことから、購入決定までの期間が伸びる傾向にある。
		その他専門店 〔楽器〕（経営者）	来客数の動き	・去年との比較であれば売上は好調であるが、3か月前に比べるとあまり変化は感じない。中心商店街から人の流れが新しい商圈へ流れ、地元の客も確実に減少している。その数字を裏付けるかのように近隣の大型デパートの経営不振の報道が流れ、衰退のイメージが漂い始めている。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・販売額等含め、前年並みである。
		ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・来客数や売上額については上昇しているが、単価を落とした結果の集客であることが実状である。しかし、無策であれば前年割れになったものと思われる。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新春の展示会場への来客数は例年とほぼ同じで、その中にはリフォームを希望している客層が以前より多くみられる。
	やや悪くなっている	一般小売店〔菓子〕（企画担当）	単価の動き	・年始には1,000円程度の福袋が最も売行きが良く、お年玉に添えて贈るプラスアルファとして買う客が目立ったが、客単価は下落している。
乗用車販売店（総務担当）		販売量の動き	・商品売行きが勢いが3か月前と比べ非常に薄く感じられる。	
その他専門店 〔書籍〕（店長）		それ以外	・確定申告の本が例年と比べ、早い時期から売れている。自営業の方はもとより、サラリーマンの方の購入も見受けられる。税金に対する考え方がかなりシビアになってきているのではないかと。少しでも多くのお金を税金で取られたくないという感情から、予防策として、このような本が売れているのではないかと。	
その他飲食〔居酒屋〕（経営者）		それ以外	・客の動きは良いが、食材となる牛肉輸入禁止、鳥インフルエンザの影響が仕入原価を圧迫している。	

		観光名所（職員）	来客数の動き	・好調だった3か月前に比べ、1月の自衛隊イラク派遣による国内テロ発生の可能性、台湾、中国等におけるSARSの発生、国内、東南アジアにおける鳥インフルエンザの発生等の要因で旅行環境が悪化し、県内への入域観光客も減少している。それに伴い当施設来客数も前年同月比で減少している。
	悪くなっている	-	-	-
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・契約金額は低いが、問い合わせ、成約件数が増えている。
	変わらない	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新規契約件数と解約件数が拮抗し、結果として売上増につながっていない。
	やや悪くなっている	不動産業（支店長）	受注量や販売量の動き	・売りの問い合わせは平常とあまり変わらないが、買いの問い合わせは少なくなっている。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている			
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・県内新規求人数は3か月前に比べ一般求人は25.5%、パート求人は28.1%それぞれ減少している。有効求人倍率は、0.44倍で3か月前と比べより0.04ポイント上回り、やや改善の動きがみられるが、完全失業率は依然として高水準で推移している。
		学校〔大学〕（就職担当）	雇用形態の様子	・雇用形態の多様化により新卒採用の減少傾向が続いている。したがって昨年より前年同月比で15%ほど学生の就職率が低下している。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・長期で契約を続けていた会社が、今回契約終了と同時に更新がなくなったり、また、派遣社員を正社員に登用したいとの要望で契約が終了したりという動きが出ている。しかし、派遣社員の正社員登用に関する紹介料など沖縄の事情もあり、なかなか取ることができないという状況もあり、現状は少々厳しくなっている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	周辺企業の様子	・県内の求人誌4業社の掲載総数をここ3か月間で比較してみると、11月が約4,986件、12月が約3,102件、1月度約4,516件と3か月前と比較して約10%減少している。
	悪くなっている	-	-	-